

経済政策論 B

—少子高齢化と社会保障制度：パート (2)—

山田知明

明治大学

2021 年度講義スライド (6)

マクロ経済と所得再分配政策

- 急激に進む少子高齢化 ⇒ 崩れる人口バランス
 - 経済対策としての少子化対策：エンゼルプラン etc.
 - 間に合わない？
- 世代間移転 (Intergenerational Transfer)
 - 各種社会保障制度
- 世代間公平性
 - 社会保障負担と給付バランス
 - 国債負担：リカードの等価命題
- 世代重複モデル：人口動態の変化とマクロ経済
 - ソローモデルでは捉えられない問題

日本の人口動態

- 進行する少子高齢化
 - 労働力人口の減少
 - 社会保障を負担する人口が減少
 - 社会保障給付を受け取る世帯が増加
- 家計の消費・貯蓄：ライフサイクル仮説
 - 若年期：消費、労働と貯蓄
 - 老年期：貯蓄取り崩しと消費
 - 貯蓄減少 ⇒ 投資 & 資本蓄積の減少 ⇒ 経済成長鈍化

世代重複モデル

- 勤労世代と引退世代が重複 (Overlap)
 - 勤労世代は働いて、貯蓄して、消費する
 - 引退世代は、貯蓄を切り崩し、年金を受け取り、消費する
 - 企業は労働投入と貯蓄を使って生産する
- 世代間の富の移転には？
 - 貨幣 (Money) や資本 (Capital)、公債 (Bond) が有用
- 世代間取引は困難 ⇒ 世代間対立が発生する可能性がある

効用関数：復習

- 人々の好みを表現するために効用という概念を使う
- 二項関係 (Binary Relations)

$$c_i \succsim c_j$$

- いくつかの公理 (Axiom)
 - 完備性、推移性など
- 効用関数 (Utility Function)

$$u(c_i) \geq u(c_j)$$

- 詳細：Mas-Colell, Whinston and Green (1995)

世代重複モデル

- 世代重複モデル (Overlapping Generations Model)

$$\max \left\{ u(c_t^Y, \ell_t) + \beta u(c_{t+1}^O) \right\}$$

$$\begin{aligned} c_t^Y &= (1 - \tau_t) w_t \ell_t - s_t, \\ c_{t+1}^O &= (1 + r_{t+1}) s_t + b_{t+1} \end{aligned}$$

- t 期生まれの代表的家計
- $t + 1$ 期には引退して年金を受け取る
- 効用を最大化するように $\{c_t^Y, \ell_t, c_{t+1}^O\}$ を選択
- 消費財価格 p を 1 に基準化

世代重複モデル (続き)

- 生産構造

$$\max \{pf(A_t, k_t, \ell_t) - w_t \ell_t - r_t k_t\}$$

- 労働 ℓ_t : 若年世代が供給
- 資本 k_t : 老年世代が供給 ($s_{t-1} = k_t$)

世代重複モデル (続き)

- t 世代人口のダイナミクス

$$\mu_{t+1} = (1 + n)\mu_t$$

- μ_t : 人口分布, n : 人口成長率
- 政府の役割 : 社会保障制度の維持

$$\mu_t \tau_t w_t \ell_t = \mu_{t-1} b_t$$

- 世代重複モデルのイメージ

[図 : 世代重複モデルのイメージ]